

令和 7 年度

教育行政方針

大泉町教育委員会

目次

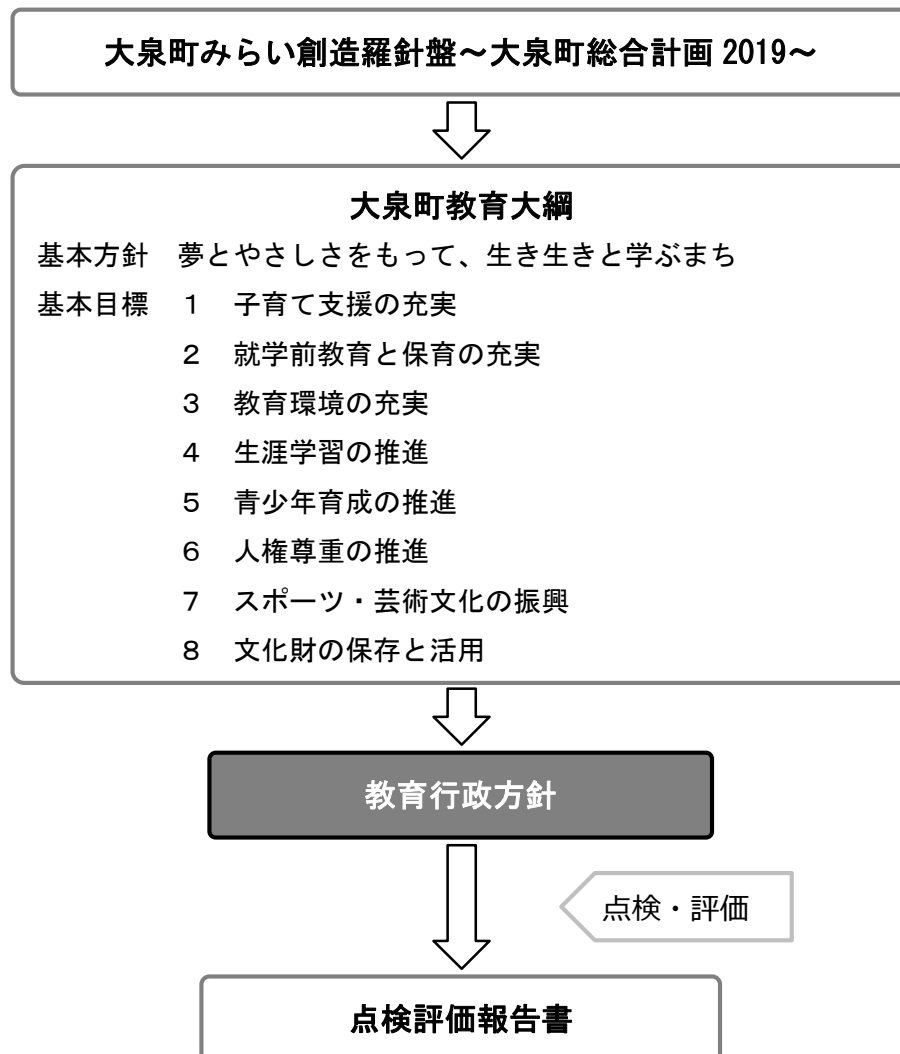
第1章 策定にあたって	1
1 策定の趣旨	1
2 令和7年度取組	2
3 SDGs との関連について	2
4 令和7年度重点施策一覧	3
第2章 具体的施策	4
基本目標1 子育て支援の充実	4
基本目標2 就学前教育と保育の充実	5
基本目標3 教育環境の充実	6
基本目標4 生涯学習の推進	9
基本目標5 青少年育成の推進	10
基本目標6 人権尊重の推進	10
基本目標7 スポーツ・芸術文化の振興	11
基本目標8 文化財の保存と活用	11

第1章 策定にあたって

1. 策定の趣旨

教育行政方針は、町の最上位計画である総合計画「大泉町みらい創造羅針盤～大泉町総合計画 2019～」と整合性を図りながら、大泉町教育大綱に掲げた基本目標を実現するために、教育委員会が単年度で取り組む施策を計画するものです。

また、年度終了後には、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表いたします。



2. 令和7年度の取組

大泉町教育大綱の基本方針である「夢とやさしさをもって、生き生きと学ぶまち」の実現に向け、令和6年度からのスローガン

「We for all !」

を継続し、町民一人ひとりがお互いを思いやり、共に学び、共に育てていくことのできる教育環境の構築を目指して、教育行政の充実・発展に取り組んでまいります。

3. SDGs との関連について

SDGs（持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」という理念の下、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、令和12（2030）年を年限とする17の国際目標が掲げられており、町の総合計画第二期実施計画においても、本町のまちづくりがSDGsの理念を意識したものである

ことを明確にしております。

教育行政方針においても、総合計画と同様に関連位置づけを明記し、施策の推進によりSDGs達成への貢献を掲げます。



SDGs 17のゴール	
1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に
17 パートナースhipで目標を達成しよう	

4. 令和7年度重点施策一覧

教育委員会の主な事業のうち、重要度の高い施策による構成とし、新規施策には○と明記する。

教育大綱の 基本目標	令和7年度重点施策	所管課	新規
1 子育て支援の充実	① 育児支援、育児不安の解消、子育て環境の整備	こども課	
	② 児童虐待の未然防止及び早期発見・再発防止	〃	
	③ 母子保健と児童福祉の連携	〃	○
2 就学前教育と保育の充実	① 学童保育の利用促進	〃	
	② 幼児期の英語教育の実施	〃	
	③ 北保育園における保育の充実	〃	○
3 教育環境の充実	① 学力向上対策の充実	教育指導課	
	② ICT 教育の推進	教育管理課 教育指導課	
	③ 英語教育の充実	〃	○
	④ 不登校児童生徒への支援	教育指導課	
	⑤ 外国籍の児童生徒に対する支援の充実	〃	
	⑥ 食に関する教育の推進	〃	○
	⑦ 学校施設・設備の整備	教育管理課	
	⑧ 部活動の地域展開の推進	教育指導課 生涯学習課	
4 生涯学習の推進	① 学習機会・学習施設の充実	生涯学習課	
	② 図書館機能の充実	〃	○
5 青少年育成の推進	① 青少年の健全育成	〃	
6 人権尊重の推進	① 人権問題に関する学習機会の提供	〃	
7 スポーツ・芸術文化の振興	① スポーツ・芸術文化の振興	〃	
8 文化財の保存と活用	① 町の郷土芸能や文化財の周知及び活動機会の提供	〃	

第2章 具体的な施策

- ※表の見方
- ・基本目標のマーク
 - ・具体的な施策のタイトル **新**
 - ・取組内容の太字部分
 - ・指標下段の参考値
 - ・・・SDG s との関連、位置づけ
 - ・・・P 3 施策一覧 参照
 - ・・・新たな取組
 - ・・・令和5年度実績値

基本目標1 子育て支援の充実



重点施策① 育児支援、育児不安の解消、子育て環境の整備

取組内容	・地域子育て支援センター事業（みよし保育園及びエンゼル保育園に委託して実施）の推進と PR（子育て中の親子の交流の場、親にとっての学びや情報交換の場、子育ての悩み解消の場の提供及び父親の事業への参加促進） ・ファミリー・サポート・センター事業の推進と PR（子育ての援助を受けたい者と子育ての援助を行いたい者の相互援助活動の実施及び事業の周知） ・子育て世代包括支援センター事業の推進と PR（子どもとその親に対する相談支援等、子育てに関する妊娠期から切れ目のない支援の提供及び事業の周知） ・妊産婦や育児中の保護者等を対象とした育児支援に関する研修会の開催
指標	・地域子育て支援センターの利用者数（年間 3,529 人以上） 参考値（年間 3,683 人） ・ファミリー・サポート・センター活動回数（年間 2,218 回以上） 参考値（年間 1,795 回） ・子育て世代包括支援センターの利用者数（年間 100 人以上） 参考値（年間 95 人） ・研修会の開催

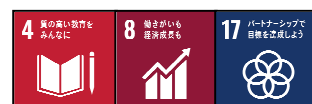
重点施策② 児童虐待の未然防止及び早期発見・再発防止

取組内容	・子ども家庭総合支援拠点事業における相談支援の実施及び事業のPR ・子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）及び子育て世帯訪問支援事業による支援の実施及び事業のPR ・児童虐待防止推進キャンペーン等における、チラシの配布や講話等の啓発活動の実施 ・要保護児童対策地域協議会その他関係機関との連携強化 ・町内の子育て関連施設の職員等を対象とした、児童虐待の早期発見及び未然防止に関する研修会の開催
指標	・児童虐待防止啓発回数（年 15 回） 参考値（年 13 回） ・研修会の開催

重点施策③ 母子保健と児童福祉の連携 新

取組内容	・健康づくり課と連携した「こども家庭センター」の設置に向けた準備
指標	・こども家庭センター開設時期の決定

基本目標 2 就学前教育と保育の充実



重点施策① 学童保育の利用促進

取組内容	・指定管理者との連携強化及びサポート支援の充実 ・学習サポートの実施 ・広報紙、ホームページによる学童保育の周知
指標	・学童保育の登録者数（709 人） 参考値（665 人）

重点施策② 幼児期の英語教育の実施

取組内容	・ 保育園、幼稚園、認定こども園、児童館における英語教育の推進 ・ 広報紙、ホームページ、各施設等で事業の周知を行い、参加者の増加を図る。 ・ 各保育施設等における成果発表会の実施検討
指標	・ 未就園児の親子参加者数（各児童館開催 1 回あたり 6 組） 参考値（－） ※令和 5 年 10 月実施のため ・ 施設関係者向けアンケートの実施 （こどもの英語への関心・興味の進展度 60 %）

重点施策③ 北保育園における保育の充実 新

取組内容	・ 病児保育事業（体調不良児対応型）及び看護師による保護者相談の実施 ・ 「休日保育事業」及び「こども誰でも通園制度」の実施に向けた準備
指標	・ 保護者向け満足度アンケートの実施（令和 6 年度以上）

基本目標 3 教育環境の充実



重点施策① 学力向上対策の充実

取組内容	・ 標準学力検査、全国学力・学習状況調査の分析を取り入れた、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ・ 目標を持って、自ら努力する意識の向上（漢字・英語・数学検定試験の推奨、スタディ・サプリ及びAIの活用） ・ チャレンジ教室、わくわく教室（貧困家庭への学習支援）のPR
指標	・ 標準学力テストの検査結果（100） 参考値（小学校 94 中学校 95） ※全国を 100 とした場合

重点施策② ICT 教育の推進

取組内容	・ 電子黒板やタブレット端末のメリットを活かした授業改善 ・ 外部 ICT 校務支援員の継続任用及び教員の ICT 能力育成 ・ 情報モラルやリテラシーの育成及び健康面へも配慮した指導の徹底 ・ タブレット端末入れ替えに向けた調査
指標	・ 電子黒板を使用した授業（教員全員） ・ 職員の ICT 活用指導力チェックリストで「授業に ICT を活用して指導する能力」をできると回答した教員（令和 6 年度以上） 参考値（33%）

重点施策③ 英語教育の充実 ㊦

取組内容	・ ALT の増員によりネイティブな英語に触れあう機会の増加及び授業公開の実施 ・ A I を活用した英語学習の導入 ・ 英語検定料補助事業と英語検定対策教室の実施
指標	・ 中学校の英検受検者数（220 人） 参考値（183 人） ・ 英検 3 級以上合格者数（110 人） 参考値（94 人）

重点施策④ 不登校児童生徒への支援

取組内容	・ 各校不登校支援担当者を中心とした不登校支援アドバイザー、スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）、ヤングケアラーコーディネーター、心の教室相談員、あゆみ教室職員等による情報交換及び不登校対策の組織的対応 ・ 学校と適応指導教室（あゆみ教室）・スマイル教室、支援施設等との連携強化と PR ・ タブレット端末等を活用した学習支援及び生活支援
指標	・ 不登校になっている児童生徒が学校以外の施設を利用した数（35 人） 参考値（33 人）

重点施策⑤ 外国籍の児童生徒に対する支援の充実

取組内容	・ 編入生対応と新一年生対応に向けた多言語サロンのプレスクール化 ・ 日本語指導助手の増員及び指導時間の確保 ・ 町教育研究所日本語教育研究班による教員の指導力向上研修の継続 ・ 学校における教科学習につなげる日本語指導の実施 ・ 外国人子女教育コーディネーターの学校への入り込み指導
指標	・ 外国籍生徒の高校進学率（希望する生徒のみ）（95%以上） 参考値（85.7%）

重点施策⑥ 食に関する指導の推進 新

取組内容	・ 食育の重要な教材である給食の無償化とそれに伴う給食費給付事業の実施 ・ 栄養士による出前授業や給食試食会等の実施 ・ 地場産食材を使ったメニューや新たな企画メニューを取り入れた給食の提供
指標	・ 出前授業や給食試食会の実施回数（7回） 参考値（1回） ・ 地場産食材を使ったメニューや企画メニューの紹介と指導回数（5回） 参考値（3回）

重点施策⑦ 学校施設・設備の整備

取組内容	・ 中学校屋内運動場等への空調設備設置工事 ・ 学校施設の個別施設計画の進捗管理 ・ プール施設の在り方についての調査
指標	・ 個別施設計画で計画された工事の竣工率（計画数4件 100%） 参考値（計画数2件 100%） ・ プール施設の調査結果の取りまとめ

重点施策⑧ 部活動の地域展開の推進

取組内容	・ 部活動地域移行検討会議の開催 ・ 月2回の拠点校方式で部活動を実施 ・ 令和8年度からの休日地域クラブ活動実施の準備
指標	・ 外部指導者が参加した部活動数（10部活） ・ 休日地域クラブ活動実施準備完了

基本目標 4 生涯学習の推進

重点施策① 学習機会・学習施設の充実

取組内容	・ 町民ニーズやライフステージに応じた講座（各種家庭教育学級、高齢者教室、趣味講座等）の開催に関する調査及び取組（コラボ開催等） ・ 各種講座の周知方法の検討及び実施 ・ 学習活動や地域活動への支援 ・ 利用者満足度の向上（公民館、図書館、文化むら） ・ 関連施設とその設備の整備及び活用（公民館での学習スペースの設置、文化むらの照明LED化に向けた調査等） ・ 地域公民館補助制度の周知
指標	・ 各講座の参加率（75.0%） 参考値（73.1%） ・ 各講座の満足度平均値（93.0%） 参考値（92.1%） ・ 各施設利用者アンケートによる満足度平均値（4.8 点以上/5.0 点満点） 参考値 公民館 （4.19 点） 図書館 （4.56 点） 文化むら（4.90 点）

重点施策② 図書館機能の充実 新

取組内容	・ 図書館利用者アンケートの実施及び分析 ・ 指定管理者と連携した施設修繕の検討 ・ 次期図書館ビジョンの検討 ・ 次期指定管理者の選定
指標	・ 次期図書館ビジョンの策定

基本目標5 青少年育成の推進



重点施策① 青少年の健全育成

取組内容	・放課後子ども教室の安全・安心かつ持続可能な運営体制の充実 ・青少年のボランティアへの参加促進 ・青少年や青少年に関わる大人へのインターネット等の適正利用の周知啓発 ・「少年の主張大泉町大会」の周知及び開催方法の検討
指標	・放課後子ども教室の登録者数（130人） 参考値（126人） ・放課後子ども教室への大学生等ボランティアの参加延人数（4人） 参考値（－人） ・インターネット等の適正利用に関する啓発事業回数（8回） 参考値（7回）

基本目標6 人権尊重の推進



重点施策① 人権問題に関する学習機会の提供

取組内容	・町ぐるみ人権教育推進大会及び人権教育指導者養成講座の開催 ・学校や各種機関・団体と連携した人権教育及び啓発活動 ・人権教育を推進するための「町の人権制度に関するチラシ」の作成及び配布 ・地域公民館と連携した人権啓発地区別事業の実施
指標	・町ぐるみ人権教育推進大会及び講座の延べ参加者数（770人） 参考値（1,011人） ・「町の人権制度に関するチラシ」の作成及び配布（1回） 参考値（－回） ・人権啓発地区別実施事業数及び延べ参加者数（30件）（950人） 参考値（26件）（933人）

基本目標 7 スポーツ・芸術文化の振興

重点施策① スポーツ・芸術文化の振興

取組内容	・誰もが安心して気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ機会の提供 ・部活動地域移行を含めたスポーツ及び芸術文化団体の支援や活動機会の提供 ・町民体育祭及びスポーツ・レクリエーション祭の内容の検討及び開催（地元プロスポーツ選手との交流等についての調査） ・公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団と協力連携した各種事業の実施 ・e スポーツの普及啓発に向けたイベントの調査（e スポーツを通じた不登校児童生徒への支援）
指標	・スポーツ・レクリエーション祭への参加者数（300 人） 参考値（300 人） ・文化振興事業（事業団実施事業）における参加者アンケートの満足度 (97.0%) 参考値（89.5%）

基本目標 8 文化財の保存と活用

重点施策① 町の郷土芸能や文化財の周知及び活動機会の提供

取組内容	・町内無形文化財の保存継承に向けた支援方法の検討（伝統芸能まつりの開催等） ・大泉かるた原画展の開催（開催方法及び場所の検討、かるたの販売継続） ・大泉歴史ウォーキングの開催 ・（仮称）戦後 80 周年企画展「新たな収集資料で見る戦中下の大泉町」の開催
指標	・参加者アンケート（「大泉町の歴史や文化・文化財への関心が高まった」の割合）（100%） 参考値（99.0%）



\\ We for all ! //



大泉町マスコットキャラクター
イズミオ〜